

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズジュニア本八幡		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性を把握して、適宜支援内容の改善を図るよう職員間でコミュニケーションを取って運営を行うことができている。また、どうしたらうまくいったか、うまくいくと思う方法は何か話し合ったり、生徒に合わせて方法を試したりすることで支援内容の改善に努めている。	生徒や保護者様だけではなく、職員同士で療育の話や業務の話などをしやすい環境を作るように、どの職員に対しても良いコミュニケーションを取ることを意識している。	良い関係性が出来ているので、今後もコミュニケーションをしっかりと取って業務に当たっていく。
2	活動の様子の写真を共有したり、ニュースレターに載せたりして、生徒の様子を周知している。	保護者様に教室での取り組みや、生徒たちの教室での様子を具体的に写真等を使って伝えることで安心感を感じてもらうように工夫している。	今後も写真等のツールを使って、保護者様に共有を行う。また、ブログを活用できればより良くなると思う。
3	満足度に関する項目が著しくよいため、今後も利用者にご満足頂けるようにコミュニケーションを取り、よい支援になるように努めていく。	より良い支援ができるように、日々生徒たちの様子を観察し、変化があれば保護者様に共有することを意識して行っている。	生徒たちの普段の様子がすべてのスタッフに共有されている状態を保ち、今まで通り真摯にご利用者に対応していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務後は、送迎終了時間が遅かったり、退勤時間が異なったりして、振り返りの時間を取れないことがある。	就業時間が違うスタッフがいるため、当日に振り返りの時間を取ることが難しい。	共有チャットを使うなどして報告や相談をするようにしている。その方法は引き続き行っていくつ、翌日のミーティングでは、前日の振り返りの時間を作り、感じたことを伝える場面を設定していく。
2	業務分担は偏りが見られる。	職員の人数が安定せず、教室に長く在籍しているスタッフの負担が増えちゃう傾向にある。	全員で教室運営を効率よくできるように業務分担をしている。

3	ブログの作成が忙しい時期等滞ることが多かった。	職員の人数が安定していなかったため、業務が難しかった。	今後は毎月更新する日を決め、ペースアップして伝えるツールとしていく。
---	-------------------------	-----------------------------	------------------------------------

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマートキッズジュニア本八幡

公表日 2025年3月27日

利用児童
数 21

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4	0	0	不安定になったときのクールダウンできるスペースがあるといい。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	3	0	0	職員がやめられた後に新しい職員の方からご挨拶の異動や退職の際ニュースレター等の紙面で移頂いたので、適切なかとは思いますが、職名は分からない。以前の職員さんがどうされたのかわかっていない。お便りに載せてもらえると有難い。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思	16	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか	18	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支	18	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	17	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に	18	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの	17	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	15	3	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する	5	5	4	4		
保護者へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	18	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング	10	3	1	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況	18	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士	4	3	6	5	なくていい	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	14	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	16	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	1		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ	16	1	0	1	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	17	0	0	1		
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等	17	1	0	0		
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や	15	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	息子はデイでコミュニケーションを取ることが大好きなので、感謝しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	いつも大変助かっております。ありがとうございます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名						公表日 2025年3月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はなかなかスタッフが安定せず、苦労したが、12月で異動もありやっと安定してきた感じがある。 ・法令上の人員体制は組んでいるものの曜日や送迎の状況によって人員が足りないと感じる。スタッフで休みが出るのと近隣教室の協力が不可欠 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーさんも入り安定してきているので、業務分担等を適切に行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな段差等があり、少し危険な場所がある。 ・トイレが寒い 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に相談しながら改善に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・空き時間にロッカー等の拭き掃除を実施 ・訓練室は何とかしているが事務室は後回しになりがち 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの改修をお願いしたい ・掃除等は時間を見つけて行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室は事務室への通路・玩具置き場となっているため、使用可能だが使用すると他生徒に我慢を強いることになる。完全な個別部屋とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室の使い方を見直しす必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが問題点を提起し考えているが、すべて共有できているわけではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がそろってきているので、業務分担を適切に行いミーティングでしっかりと話し合えるようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設	5	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等	6	0		
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー	6	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	5		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	4	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	1	5		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	3	3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、	3	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達	3	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事	2	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活	0	6		

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等による	5	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによる	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	5		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	5	1		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	5	1	・研修や訓練をおこなっており、必要最低限の安全管理はおこなえている。より安全に過ごせるよう更なる工夫や改善に努める必要がある。	・研修や訓練は引き続き行っていく。訓練の時にも今の人数で対応できるように話し合っておく。

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	6	0		